

私の信念

コロナ禍のもとで、いま政治がやるべきは、市民のいのちと暮らしを支えること＝「公助」ではないでしょうか。

1、市政の主人公は市民ですー議員・市長は市民が雇用

だから 議員には広く市民の声を集め、それに基づいた施策や予算を決めていく義務があると思います。

2、市にはすべての市民が安心して暮らせる環境を整備する義務と責任があります

だから 公共工事を進めるにあたっては、目的や費用、メリット・デメリット等すべての情報を開示し、住民合意に基づいてすすめるべきです。
また、近年頻発している異常気象への備えは欠かせません。

3、市政は力や立場の弱い人こそ寄り添うべきです

だから 子どもの教育や医療、お年寄りの介護や福祉 さらに中小零細企業・商店・農家の経営、非正規労働者やシングルマザーの暮らしなどに、最大限の支援を講ずるべきと考えます。



私の抱負

1、活動の根幹に、市民との対話・協議を据えます

自治会・部農会・老人会・各種組合から趣味のサークルまで地域の様々な分野のみなさんのご意見・ご要望を聞き、ともに考え、市政に届けます。定期的な議会報告会やニュースの発行で、要望の実現状況や市政の様子をお知らせします。

2、安全な郷土をつくるために力を尽くします

地震や異常気象がいつ襲ってきても、堅固・安全で電力や水・食料の供給可能な避難所の確保と整備にとりくみます。家代川・逆川等市内河川と排水路の整備を着実にすすめます。

一旦重大事故が起きれば人が住めなくなり処理不能な放射性廃棄物を出し続ける原発は、再稼働を認めず、廃炉にしましょう。

市で使う水の8割以上を賄っている大井川の水を守るため、リニア新幹線工事は中止させましょう。

食の安全と環境・景観保全のため、農業を基幹産業に位置付け、中・小規模の農業が継続できるよう、価格の安定や販路の確保にとりくみます。

＝私の略歴＝

- 1954年 掛川市 城西に生まれる。
- 1973年 掛川西高卒業・山梨大学入学・共産党へ入党。
- 1977年 山梨大学 土木工学科卒・建設会社へ就職。
- 2016年 退職（就職した会社で 39年間土木現場管理者）
地域活動（神社総代会長 他）の傍ら菜園を始める。



＝私の趣味＝

投げ釣りと家庭菜園どちらも調理まで

